

公費解体等

輪島市

市民生活部環境対策課

松浦 一憲（産業労働局）

町山 竜也（教育庁）



松浦 一憲（産業労働局／派遣期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

派遣先部署の業務概要（組織の目的・規模・内容等）

所属している市民生活部環境対策課は、通常業務として、狂犬病予防、墓地や火葬場の経営、動物の死体処理、衛生害虫駆除、公害防止対策など衛生に関する業務やゴミなど廃棄物処理、環境美化事業、自然保護など環境に関する業務を執り行っていました。令和6年能登半島地震により、公費解体推進室を設置して、災害により発生した廃棄物の処理業務や損壊家屋等の解体・撤去（いわゆる公費解体）業務など通常業務と併せて行っている。

環境対策課の職員構成としては、令和7年11月末現在で、輪島市職員が9名、石川県からの駐在職員が2名、全国各自治体からの派遣職員19名の計30名で構成されており、派遣職員的主要業務としては、公費解体の申請受付業務、解体費用仮算定書確認業務、解体・撤去決定通知業務、作業指示業務、解体完了通知業務、解体費用支払業務、解体・撤去した建物の滅失登記に関する業務などとなっている。

災害発生時に被災した損傷家屋等の解体・撤去は、本来、私有財産の処分であり、原則として、所有者の責任によって行うものであるが、令和6年能登半島地震について、激甚な非常災害と認定された災害である「特定非常災害」に指定されたため、輪島市では環境省の災害等廃棄物処理事業費補助金を活用して、所有者等からの申請に基づき半壊家屋等までの解体・撤去を実施している。

石川県では、「公費解体加速化プラン」を計画し、被災者の生活再建を最優先に、災害廃棄物を適正かつ円滑、迅速に処理し、令和7年10月末までに公費解体を終了させ、令和8年3月末を目途に、災害廃棄物の処理を完了することを目指しており、輪島市においても令和7年10月末時点の解体率が95.8%と石川県の計画どおり進めているところである。

派遣当初の状況

公費解体の申請受付が令和7年5月30日までだったことから、申請受付で来庁される市民が多数市役所にお越しいただき、多数の職員が窓口対応を行っていた。また、解体作業がピークを迎えていた時期だったことから、解体費用算定書確認、各通知業務、解体費用支払業務等一連の業務についてもピークを迎えており、それぞれ担当職員が迅速に業務遂行を行っていた。

派遣者自身が担当した業務概要

派遣当初から、主に公費解体を行うための解体作業員が宿泊することに伴い必要となる経費の精算業務を担当した。公費による解体・撤去を迅速に行う観点から、全国から解体事業者を受け入れるため、解体事業者の所在地から解体現場までの路程が片道100kmを超えることや、地理的な条件や交通イン

フラが復旧していないため解体業者の所在地から解体現場までの往復が困難であることが要件であり、解体作業員の宿泊が必要となる場合は、宿泊に伴い必要となる経費が環境省の災害等廃棄物処理事業費補助金の対象となることから、その精算を行った。

業務の遂行に当たって、苦労したこと、工夫したこと

既に令和6年度から運用しており、基本的なスキームは出来ていたことから、これまでの流れを踏襲していくことが基本業務であった。しかしながら、例えば誤った精算など行った場合には派遣先である市や事業者に対して多大な手間をかけてしまうことになる恐れがあることから、精査作業では何度もチェックするなど慎重に対応した。



【損壊家屋等の解体・撤去後の輪島朝市】
(令和7年9月)



【損壊家屋等の解体・撤去後の輪島市鳳至町付近】
(令和7年9月)

印象的なエピソード（うれしかったこと、やりがいを感じられたこと等）

基本的には業務の中で「うれしい」や「やりがいを感じる」といったことがなかなか難しいと感じながら業務を行っているが、11月のある晴れた日に、ふと地震の影響で山肌が崩落するなど爪痕を残している山々を見渡すと、崩落を免れた部分の木々が紅葉で色鮮やかになっていることを発見し、このような状況でも四季を感じることが出来たのが印象的だった。

今後の都政に活かせること・活かしたいこと

全国各地から集まった派遣職員やプロパーである輪島市職員の皆様と一緒に業務を行ったことで、各自治体との繋がりが新たに出来たため、今後都政を進めていく中で、他自治体の状況を参考にしたい場合は、コンタクトを取っていくことが出来ると思う。

東京都における防災、災害対策等に活用できる経験・感想

東京都においても、八丈島で台風、豪雨被害が起こったばかりで、今後都内でも自然災害がいつでも起こる可能性があると感じる。

被災自治体では、復旧・復興事業を計画する場合、国やこれまで災害が発生した他の被災自治体からどのように進めていたのか情報収集を行っている。東京都では、東日本大震災を始めとする被災自治体への職員派遣を多数行っており、派遣経験のある職員はノウハウや人脈を蓄積しているため、「オープン＆フラット」な都庁を実行する上でも、そのような人材を活用して、万が一災害が起きた場合に復旧・復興事業を計画する際に派遣経験のある職員を活用できるスキームがあれば、より派遣した経験を東京都に還元できると感じる。

町山 竜也（教育庁／派遣期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

派遣当初の状況

派遣当初の状況は、生活圏内の道路舗装は基本的にひび割れしており、車で走るには不安定な道でしたが、日常生活に大きな支障はなかったです。通勤経路には被災家屋や更地になった土地が多々あり、胸が痛くなりました。東京都から環境対策課への派遣は初めてであり、前任不在で不安もありましたが昨年度から継続されている他自治体の方々の支えもあり、スムーズに業務を遂行できました。



【土砂災害を受けた地域】
（令和7年4月時点）



【奥能登豪雨で損傷した姫田橋】
（令和7年5月時点）

派遣者自身が担当した業務概要

主に公費解体に伴う支払い業務を担当しました。公費解体の制度は災害で損傷した建物について、所有者の申請に基づき、市が費用を負担して解体・撤去を行うもので、市が契約する解体業者に支払います。

支払いは月3回実施しており、各回、業者から提出される完了報告書類を確認します。一般的な住家1件当たり約150枚（会社等規模が大きい場合は1,000枚超）の書類を精査し、不備があれば速やかに業者へ連絡し訂正を依頼します。

1回あたりの支払い件数は約200件、総額は約10億円に上ります。1件ごとの金額も高額であるため、滞りなく迅速かつ正確に処理することが求められ、常に緊張感を持って業務にあたりました。

業務の遂行に当たって、苦勞したこと、工夫したこと

初めての業務だったので、まずは制度の理解に苦勞しました。隙間時間には国や市のマニュアルを読み込み、理解を深めるよう努めました。基本的には事務作業が中心で現場に行く機会は多くありませんでしたが、時間に余裕がある際には現場を訪問し資料と照らし合わせながら理解を補いました。

また、輪島市役所での被災地派遣では、異なる組織文化や業務スタイルを持つ他自治体の職員、県庁、コンサルタント、地元業者など複数の関係機関と連携しながら業務を進めました。限られた人員や時間の中で、状況に応じた柔軟な対応が求められる現場においては、迅速な判断力・実行力・調整力が

必要でした。受動的ではなく能動的に行動することが求められる環境であったため、プロパー職員を含め日々積極的にコミュニケーションを取り、円滑に業務を進められる職場環境づくりに努めました。

印象的なエピソード（うれしかったこと、やりがいを感じられたこと等）

日常的な買い物や飲食店で、震災により住居を失った方々と話をする機会が多くありました。その際、会うたびに派遣に来たことへの感謝を伝えられました。本来であればご本人たちが最も大変な状況にあるはずなのに、毎回心からの感謝をいただき、その思いに全力で応えたいと感じながら日々の業務に取り組むことができました。

また、自分の業務は復興の進捗を直接目に見える形で確認できるものではないため、不安を覚えることもありました。しかし、温かい言葉をかけていただくことで「もっと応えたい」という気持ちが強まり、一層やりがいを感じるようになりました。

今後の都政に活かせること・活かしたいこと

現地での業務を通じて、災害対応における事務の重要性を改めて実感しました。ひとつひとつの処理が地域の復旧に直結しており、迅速かつ正確な対応が求められる中で、事務職としての責任の重さを再認識しました。

また、被災家屋の視察を通じて、制度の背景にある現実を肌で感じ、丁寧で誠実な対応の必要性を痛感しました。今回の経験を今後の業務にも活かし、制度の先にある人々の暮らしを意識した行政を目指していきたいと考えています。

東京都における防災、災害対策等に活用できる経験・感想

建築物の耐震化を進めることの重要性を現場で確認できました。住宅は地震の被害を受けると、全壊・半壊・一部損壊といった形で判定され、罹災証明書が発行されます。輪島市では一般的に半壊以上が公費解体の対象となり、補助金や交付金の対象を分ける大きな基準となっています。

住宅の耐震化は個人判断に委ねられる難しさがあり、住宅が個人資産である以上、公費をどこまで投入するかという議論は避けられません。しかし、震災後には多大な公費が投入されることを考えると、事前の対策をより一層推進していく必要があると感じました。

さらに、輪島市は土地に余裕があるため、被災地域でも工事車両が通行可能でしたが、東京23区の場合は道幅が比較的狭いため、復興の遅れが懸念されます。